

富士山噴火降灰対策検討会（第1回） 議事要旨

1. 日時

令和5年5月29日（月）13時30分から14時15分（オンライン開催）

2. 議事概要

富士山噴火降灰対策の検討方向について、各委員から下記のとおり意見が出された。

- 大きな火山爆発の風下に近代都市があったという例はないため、関係者の想像力を働かせ、その上でどういう対策を取るべきなのかについて議論を行うことが重要である。
- 火山噴火の場合、事前に何が起こるか、時系列として分かりにくいいため、タイムラインという言葉が独り歩きして誤解を招かないよう、気をつける必要がある。
- 多くの都民にとって降灰の影響は未知数であるため、降灰が生活に溶け込んでいる鹿児島島の事例を参考にすることも重要である。
- 都内各地の降灰量について、把握方法も含めて検討すべきである。
- 降灰への対応を考える上では、具体的な対応側が実際に動ける時間も加味して検討することが重要である。

以 上